

ごあいさつ



本市では、21世紀におけるまちづくりの指針として、平成13年度に第4次枚方市総合計画をスタートしました。その基本構想の中で、本市のめざすまちの姿を「出会い・学びあい・支えあい、生きる喜びを創るまち、枚方」と定め、その実現に向け、基本計画に基づいて様々な施策を進めてきたところです。

この間、市民の価値観やニーズが多様化し、めまぐるしく移り変わる社会情勢のなか、新たな法律や国の施策が展開されるなど、行政を取り巻く課題も様々で、その的確な対応が求められます。

そうしたことから、本市では今回、「市民生活の安心と安全」や「教育・子育ての充実」などを重点施策とするとともに、多様化する社会情勢を踏まえ、より実効性のあるものとするため、基本計画の改定を行いました。様々な緊急の課題に対応しながらも、「選択」と「集中」を行い、未来の枚方市のために必要な先行投資を行う都市経営の視点を持つことが重要であり、本計画では、こうした長期的な財政計画も踏まえ、枚方市のめざすべき方向性を示しています。

また、今回の改定に際しては、新しい市民参加の手法として、NPO法人や市民グループからなる「きらりひらかた市民会議」を設置し、市民グループにおける施策提案の作成や総合計画審議会委員への発表、また市民相互の意見交換を行うなどの取り組みを行ったところです。

今後も、本計画をもとに枚方市の特色を生かした取り組みをより一層推進し、多くの人に枚方に住みたい、住み続けたいと感じてもらえる魅力あるまちの構築をめざしてまいります。

本計画の改定に慎重かつ熱心にご審議いただきました、枚方市総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、きらりひらかた市民会議の皆様や市民意識調査及びパブリックコメントなどを通じて貴重なご意見をいただきました市民の皆様、策定にご尽力いただきました関係機関の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成21年4月

枚方市長 竹内 脩